



Contents

テーマ：岐阜県建設研究センターの紹介
市町村向け支援メニューの紹介

お知らせ：7～9月研修・講習会の案内と申込方法

岐阜県建設研究センターの紹介

センターとは

岐阜県建設研究センター（以下「センター」という。）は、行政機関でも民間企業でもない公益財団法人で、岐阜県及び県内市町村が行う土木・建築事業の技術支援を行っています。

道路や河川などの土木工事や建築工事の設計・積算・施工管理、橋梁点検や災害復旧における技術支援などを行い、県・市町村の技術力の一翼を担っています。

また、産学官が連携した建設事業に関する調査研究や高度な技術に対応できる建設技術者を育成するため

の研修を行っています。

近年、頻発化・激甚化する自然災害の対応、DXやSDGs達成に向けた事業活動の推進など、センターに求められる役割は大きく変化しています。

こうした変化するニーズに的確に対応するために、技術力の向上や効率的な業務の推進に取り組むとともに、一層安定した経営基盤を確立し、信頼され期待に応えられるセンターであるよう努力しています。

センターの職場環境

① 施設環境

センターは、岐阜県大垣市のソフトピアジャパンエリア内にある「ワークショップ24」に本部を設置しています。

ソフトピアジャパンは情報産業を育成、振興、集積するIT拠点であり、大手・県外企業、地元企業、ベンチャー企業等約150社が立地しています。また近くには、公園、テニスコート、野球場、総合体育館などがあり、周辺環境も整っています。

ワークショップ24は、ソフトピアジャパン関係者等の業務や日常生活の利便を24時間サポートする施設であり、IT企業等が研究・開発活動を行うためのオフィスエリアに加え、貸切宿泊施設ソピア・キャビンを備えており、この4階にセンター本部があります。

各階フロアの入口ではテンキーによる入退室管理が行われ、各事務室の鍵等による個別管理と合わせセキュリティは高く整っています。

各階のミーティングルームや2階に設置されているコワーキングスペース「コラボ・ソピア」は、申込



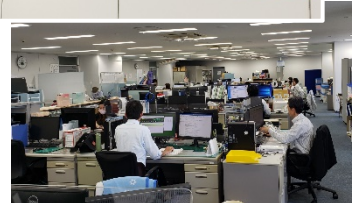
ワークショップ24



ソフトピアジャパンセンタービル

又は登録することにより無料で自由に使用することができます。

また、2階にはインフォメーションセンターが設置されているため、施設に関する相談や依頼に対して迅速に対応していただけます。



② 福利厚生

センターの福利厚生は、介護保険や厚生年金といった法律で義務とされているもののほかに、生活習慣病予防健康診断やインフルエンザ予防接種などの経費負担、各種資格取得等に関する費用助成及び、夏期休暇やボランティア休暇などの特別休暇や、病気休暇や休職、育児や介護のための休暇や休業など、様々な福利厚生に関する制度が整っています。

③ 職場環境の改善

センターでは、職員の創意を發揮させ業務改善提案を推奨することにより、経営への参画意識を高めるとともに経営改善の促進を目的として「業務改善提案制度」を実施しています。これにより、職場環境の改善にも継続的に取り組んでいます。

令和5年度 岐阜県建設研究センターの支援メニュー

建設事業総合支援

公共工事発注者支援機関としての総合的技術支援

① 計画・調査の支援

(技術部・建築部・インフラマネジメントセンター)
発注者が実施する業務の事業化段階における相談や計画、調査の発注事務に関する助言を行い、必要に応じて業務そのものを受託します。

② 設計の支援

(技術部・建築部・インフラマネジメントセンター)
発注者が実施する設計の発注事務に関する相談や設計途中の技術的助言を行い、必要に応じて業務そのものを受託します。

③ 積算の支援

(技術部・建築部・インフラマネジメントセンター)
積算業務の受託、発注者が作成した設計図書のチェック、積算に関する助言、積算システム操作等の援助を行います。

④ 発注支援 (企画部)

総合評価による入札において必要となる学識経験者からの意見聴取を一括して行います。また、技術的提案の評価に関する支援を行います。

⑤ 施工管理支援

(技術部・建築部・インフラマネジメントセンター)
公共工事の施工中に監督員が実施する業務を補佐・支援します。また、発注者自らが行う監督業務中の相談、助言を行います。



工事管理業務の様子

⑥ 検査・監査支援

(技術部・建築部・インフラマネジメントセンター)
公共工事の完成検査や工事監査における検査員等の技術的業務を補佐・支援します。

アセットマネジメント支援 (インフラマネジメントセンター)

① 橋梁長寿命化修繕計画

地方公共団体は、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、計画的に維持管理・補修する必要があります。

高い技術力や豊富なノウハウを活用し、個別施設ごとの長寿命化修繕計画の策定・見直しを支援します。

② 橋梁点検 (地域一括発注)

橋梁の点検業務を受託します。より効率的かつ確実に点検を実施するため、複数市町村の業務を地域単位でまとめて点検作業者に発注する「地域一括発注」により橋梁点検を支援します。

③ 橋梁補修工事積算・施工管理

橋梁補修工事は、特殊な工法や新工法が多く含まれます。補修工事の発注(積算)から施工管理まで、総合的に支援します。



橋梁点検の様子

災害復旧支援 (技術部)

災害の早期復旧を目指し、発災直後から完了まで、あらゆる災害復旧業務に関する相談に応じ、必要に応じて業務を受託します。

施設管理事業 (インフラマネジメントセンター)

メンテナンスエキスパート等により、「スマぱと」を用いて道路巡視業務を実施します。

現在は、岐阜土木・高山土木が管理する道路の巡視を行っています。



試験事業 (インフラマネジメントセンター)

アスファルト混合所から出荷する混合物を第三者機関であるセンターが審査し、工事の円滑な進捗を支援します。混合所に立ち入り審査する事前審査試験と、工事現場毎の現場密度試験があります。

現場密度試験の申込については
センターHPをご覧ください



行政相談支援 (企画部)

「なんでも相談室」を設置し、行政が抱えている技術的な課題に対して、解決のための助言や提案を行います。

令和5年度 岐阜県建設研究センターの支援メニュー

建設ICT総合支援

センターオフィスパッケージの提供 (社会基盤情報部)

ICT(情報通信技術)を活用した県内市町村の建設業務効率化を支援するため、**県域統合型GISと連携したシステムである「センターオフィスパッケージ」**を提供しています。

システムを安価に提供するため、**同じシステムを複数の自治体で共同利用するASP※方式**を採用しており、各自治体においてはシステムの開発・保守やサーバーの維持管理が不要です。

現在、6種類のアプリケーションを提供しており、各自治体のニーズに合わせ、1システム単位で利用することが可能です。

※ ASP: Application Service Providerの略で、アプリケーションソフトの機能をネットワーク経由で提供する事業者及び仕組み



県域統合型GIS (ふるさと地理情報センター)

県域統合型GISを運用することで、**県・市町村の地理空間情報の活用をサポート**しています。

県域統合型GISとは、**県及び市町村が整備した地図データを一元的に整備・管理し、共同利用することでコスト縮減と地図利用の効率化を図ることを目的とした地理情報システム**です。

令和元年10月からは、**LGWAN(総合行政ネットワーク)**の利用やオープンデータ出力に対応した第3次システムにて運用しています。

ふるさと地理情報センターでは、GISの運用

方法や操作に関する相談を受け付けています。お気軽にヘルプデスクまでお問い合わせください。

県域統合型GISヘルプデスク

TEL:0584-81-1357 E-mail:GIS@gifu.crcr.or.jp



<https://gis-gifu.jp/gifu/portal>

浸水想定区域図

調査・研究・研修

調査・研究 (企画部)

建設行政・業界を取り巻く社会的課題を解消するために、**ニーズに対応した調査研究等**を行います。

現在は、**市町村が管理する橋長15m未満の小規模橋梁について、限られた予算で効率的な維持管理がで**

きるように、劣化を予測し、補修レベルを使い分ける**維持管理手法**について研究を行っています。



RC床版橋の劣化損傷状況

県・市町村職員研修 (建設ICT人材育成センター)

市町村や県の職員を対象に、**建設関係行政職員として必要な基本的知識から建設個別分野における専門的知識まで**を習得するための研修を開催します。



測量研修



CAD研修

令和5年度 県・市町村職員研修計画

研修概要	回数	定員総数
共通 (歩掛、監督業務等)	12回	355人
CAD	5回	120人
政策 (道路、都市等)	6回	190人
建設ICT (発注と監督)	1回	30人
技術 (橋梁点検、舗装等)	14回	378人

建設業担い手育成・確保（建設 ICT 人材育成センター）

県内の建設関連企業の方を対象に、建設ICTをはじめ、技術力・経営力向上のための研修を開催します。

また、県内の建設関連企業の建設業初任者やその指導者を対象とした各種研修も実施します。



建設 ICT 研修



現場見学バスツアー

さらに、未来の建設業の担い手を確保するため、小中学生とその保護者を対象とした現場見学バスツアーなど、建設業の魅力を発信する取り組みをします。

令和5年度 建設業担い手育成確保研修計画

研修概要	回数	定員総数
建設ICT研修	20回	572人
新規入職者定着研修	3回	120人
技術力向上研修	11回	560人
経営力向上セミナー	5回	180人

お知らせ 7～9月研修・講習会の案内と申込方法

建設 ICT 人材育成センター ☎:0584-71-7001 ✉:kensyu-tk@gifu.crcr.or.jp



県・市町村技術職員研修

※研修案内は別途メールにて各自治体の研修担当者様宛に送信します。受講料については個別の概要書をご確認ください。

開催日	研修名	内容	場所	定員
7/7	構造物の設計と管理	擁壁工設計・構造物管理の講義	建設ICT人材育成センター	30
7/13	道路政策	道路建設・道路維持事業の講義	建設ICT人材育成センター	30
7/20	都市政策	都市計画・建築関連法規の講義	建設ICT人材育成センター	30
7/27	河川	河川法・水防法・河川事業の講義、演習	建設ICT人材育成センター	30
8月	建設ICTの発注と監督	ICT活用工事の積算と監督	建設ICT人材育成センター	30
8月	入札制度	入札制度や品確法等の講義	建設ICT人材育成センター	30
8/10	土木基礎	材料基礎(土質、コンクリート)の講義	岐阜大学工学部	20
8/18	問題解決力向上	職場の問題解決(業務改善)力の向上	建設ICT人材育成センター	30
8月	都市計画	公園事業・街路事業の講義	建設ICT人材育成センター	30
9月	下水道	下水道関連の講義	建設ICT人材育成センター	30
9月	道路設計	構造令の講義、設計演習	建設ICT人材育成センター	30
9月	橋梁設計	新設・耐震設計・補修設計の講義、演習	建設ICT人材育成センター	30
9月	舗装	舗装点検要領・舗装設計の講義、演習	建設ICT人材育成センター	30
9月	安全管理	安全管理	長良川国際会議場	20
9月	水中ドローン	水中ドローンに関する操作実習	未定	22

建設業担い手育成研修

※研修案内は建設 ICT 人材育成センターのホームページに掲載しています。

開催日	研修名	内容	場所	定員
7/4	技術者基礎能力向上研修	交渉能力の向上	ライブ配信	50
7/5	建設ICT技術研修	BIM/CIM	中部インフラDXセンター	30
7/10	技術力向上セミナー	品質管理力の向上	ライブ配信	50
7/14	技術力向上セミナー	工程管理力の向上	ライブ配信	50
7/21	建設ICT技術研修	3次元設計データ作成	美濃市文化会館	30
7/24	建設ICT普及研修	国や県の最新情報と活用事例	長良川国際会議場	80
7月	経営力向上セミナー	建設人材の育成と定着	検討中	40
7月	技術者基礎能力向上研修	施工計画力の向上	ライブ配信	50
8月	技術力向上セミナー	工事成績評価アップのポイント	ライブ配信	50
8月	建設ICT技術研修	3次元測量データと活用のポイント	ライブ配信	50
8月	経営力向上セミナー	建設業における働き方改革	ライブ配信	40
8月	技術力向上セミナー	原価管理力の向上	ライブ配信	50
8月	建設ICT PC研修	ICT活用による効率化、生産性向上	建設ICT人材育成センター	30
8月	経営力向上セミナー	企業の魅力発信(YouTube活用)	建設ICT人材育成センター	30
9月	技術力向上セミナー	安全管理力の向上	長良川国際会議場	80

編集・発行 公益財団法人 岐阜県建設研究センター担当 : 企画部 北神・河村
TEL 0584-81-1332 FAX 0584-81-1352 <https://www.gifu.crcr.or.jp>

